

# 第70回 I-BIO FORUM

## 特集 新しい医療 ～先制医療～

ライフサイエンス研究よりさまざまな疾患で発症機構の解明が進みつつあり、高血圧、糖尿病などの慢性疾患、さらには加齢に伴って増加する疾患は、遺伝素因(ゲノム)を背景とし、さまざまな環境因子が複雑にかかわりあって発症することが強くいわれております。糖尿病、骨粗鬆症、あるいはがんで代表されるように遺伝子の変化から発症に至るまで時間経過など、病因が成立してから実際に臨床症状が現れることとの間に長い期間を要するものが多いと考えられます。このように、疾病あるいは臨床症状の発現に先立って診断し、適切に対処する「先制医療」という考え方が登場してきました。

疾病発症後の薬物治療という今までの枠組みの中で、医薬品企業は「先制医療」というあたらしい医療パラダイムの変化に対してどのようにビジネスを構築していくのか、あるいは今まで漠然とした「医食同源」という概念で、食品開発を考えてきた食品企業、健康食品企業がどのように対処するのかが求められようとしています。

今回、「先制医療」の概念の提唱の一人であり、その推進に注力しておられる京都大学名誉教授井村裕夫先生、および生命の本質を環境への適応、ゲノムサイエンスから研究し、平成22年度経済産業省/NEDO 再生医療技術戦略委員長を務められたソニーコンピュータサイエンス研究所の桜田一洋先生をお迎えして『先制医療と創薬』のテーマを取り上げました。

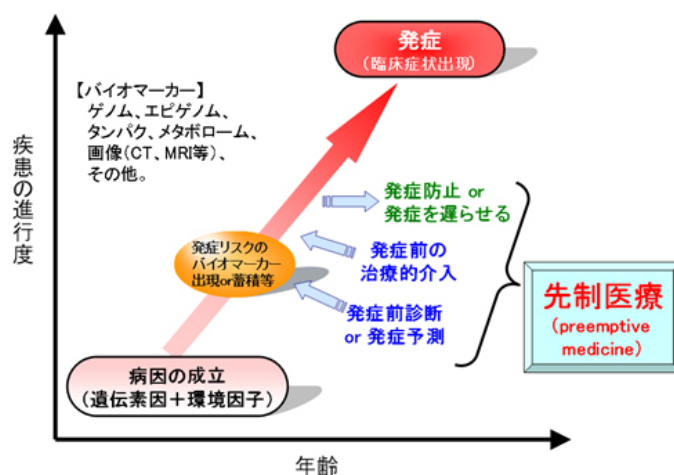


図. 先制医療(preemptive medicine)の概念図

(科学技術振興機構 研究開発戦略センターのレポートから転載)

1. 日時 : 平成 24 年 1 月 24 日 14 : 00 ~ 19:00
2. 会場 : きゅりあん 5F (品川区立総合区民会館)  
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1 (地図はこちら)  
TEL 03-5479-4100
3. FORUM テーマ 『先制医療と創薬』  
14 : 00 ~ 14:15 「先制医療と創薬 概説」  
(株)アイ・バイオ・コンサルティング コンサルティングアドバイザー 清末芳生  
14:14 ~ 15:30 「先制医療としての再生医療とゲノムサイエンス」(仮題)  
(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー 桜田 一洋 先生  
15:45 ~ 17:00 「超高齢社会における医療の目標  
ー先制医療を中心にー」(仮題)  
財団法人先端医療振興財団理事長 京都大学名誉教授 井村裕夫 先生  
17:00 ~ 情報交流会 (会場: 品川区民会館 2F K ラウンジ)
4. 参加費 5,000 円 (ただし、I-BIO 会員 無料、情報交流会費用を含む)
5. お申込み・問合せ先

(株)アイ・バイオ・コンサルティング I-BIO FORUM 事務局  
〒140-0011 東京都品川区東大井 4-12-17~103  
TEL 03-6718-4325 FAX 03-6718-4326  
担当者 : 篠島 秀明、貴志 弘  
E-mail : [imabio@ibio-c.co.jp](mailto:imabio@ibio-c.co.jp)

## 講師のご紹介

桜田 一洋 先生



(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。生命科学者。理化学研究所政策審議委員、NEDO 再生医療戦略調査委員会委員長 (2010 年度)、その他経済産業省、科学技術振興機構(JST)などの委員もつとめる。1988 年大阪大学大学院理学研究科修士課程修了。同年協和発酵工業 (株) 入社。2004 年ドイツ Schering 社により神戸に新設されたりサーチセンターのセンター長として移籍し、Schering 本社コーポレート研究幹部会メンバー(Corporate Research Vice President Class)、日本研究部門統括、ならびに日本シエリング社の執行役員リサーチセンター長を務めた。その後合併に伴い、Bayer Schering Pharma (BSP) の日本研究部門統括、再生医療本部長、グローバル研究幹部会メンバー(Global Research Vice President Class)ならびにバイエル薬品の執行役員リサーチセンター長を務めた。

井村 裕夫 先生



1931年滋賀県生まれ。1954年京都大学医学部卒、内科学とくに内分泌代謝学を専攻。京都大学教授を経て、1991年同大学総長就任。1997年退任。その後、科学技術会議（改組により総合科学技術会議）議員として、科学技術政策の立案、調整に関わる。2004年退任。現在、先端医療振興財団理事長、稲盛財団会長、科学技術振興機構顧問。また日本学士院会員、米国芸術科学アカデミー外国人名誉会員。

以上